

【会議記録】

第5回一宮市部活動地域移行検討協議会

日時	2025年2月13日（木）14時30分～16時00分
場所	一宮市役所本庁舎 701会議室
出席者	委員13名（鈴木、宇佐美、土川、長谷川、秦、高木、町田、五藤、芳賀、江藤、花村、今村、森）

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

3 報告事項

(1) 2025（令和7）年度 前期休日地域クラブ活動・参加者募集について

(2) 部活アプリ集金システムについて

(3) 2024（令和6）年度 後期休日地域クラブ活動・振り返りアンケートの実施について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・2025（令和7）年度 前期休日地域クラブ活動は、4月から8月まで、月2～3回程度の活動回数となり、12種目でスタートさせる。今年度より各種目活動場所を増やして実施する予定である。
- ・部活アプリ集金システムは、今年度導入した指導者と参加者の間で行う「連絡機能」「予定管理機能」の他に「集金機能」が加わり、利用する団体に向けて準備を進めている。
- ・参加生徒・保護者・実施団体・学校会場・事務局それぞれの立場で振り返りアンケートを実施し、次回以降の協議会でアンケート結果を基に休日地域クラブ活動の検証を行っていききたい。

4 議事

(1) 2025（令和7）年度以降の地域移行の見通しについて（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・休日月2回の地域クラブ活動に加えて、独自に平日ナイターの練習を実施する団体が出てきた。また、年間を通じての活動になっていなかった吹奏楽が、来年度は消防音楽隊の方々にサポートしていただける予定である。
- ・指定管理課及び施設管理課の実施事業として、土日・祝日、平日の17時以降で中学生の受け入れ可能な教室が、市内15施設で全25教室ある。そこを上手に活用していけば、部活動地域移行の足りない部分を補えるのではないかと考える。
- ・卓球をはじめ、多くの種目で受入団体・指導者が不足している。保護者やスポーツ推進委員、市スポーツ施設や企業との連携等、どのように広げていくことができるのか、働きかけのアイデアや可能性について、さまざまな立場や視点で意見いただきたい。
- 企業に対して商工会議所を通じてアプローチすることに加え、一宮市には「一宮市サポートカンパニー」という社会貢献の制度がある。その制度を活用して告知することもよいと思う。
- 地域づくり協議会で話題にあげながら保護者の方にも指導者募集の案内を出していけば、地域の方でかなり人材を発掘することができるのではないかと思う。
- 人材を広く募集することはよいが、部活動地域移行の趣旨をしっかりと理解いただき、指導方針をはっきりさせておかなければならない。
- 公式インスタグラムの中で、今年度の活動の様子を動画で紹介しているが、さまざまな世代に届くようにバリエーション豊かに情報発信していくことで、広く関心をもっていただけたらと思う。
- 事務局からの発信についても、部活動がなくなるという否定的なものではなく、たくさんの選択肢の中から3年間でさまざまな種目が経験できるメリットを強くアピールして欲しい。
- 指定管理課の教室は、子どもが自由に参加できる選択肢が増えることにつながる。運動やスポーツだけではなく、かきかた教室・英検・料理など、文化的なものも多岐に渡っているのが有り難い。

(2) その他

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・第3回愛知県部活動地域移行協議会の中で、「コーディネーターの配置」「運営団体の構築」「生活困窮者への支援」が話題にのぼった。一宮市においても検討していくことが必要であると考えます。

5 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

6 閉会のことば